

ビデオフラッシュライト

Video Flash Light

Lampe flash vidéo

撮像／闪光灯

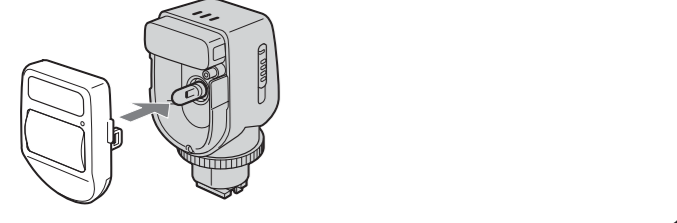
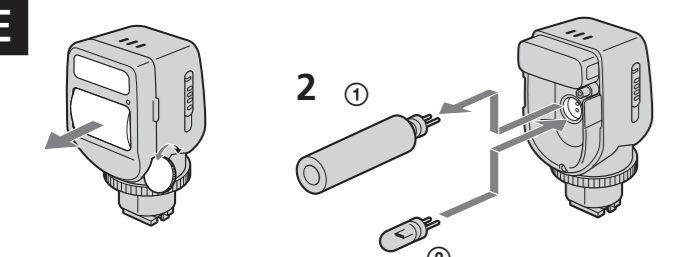
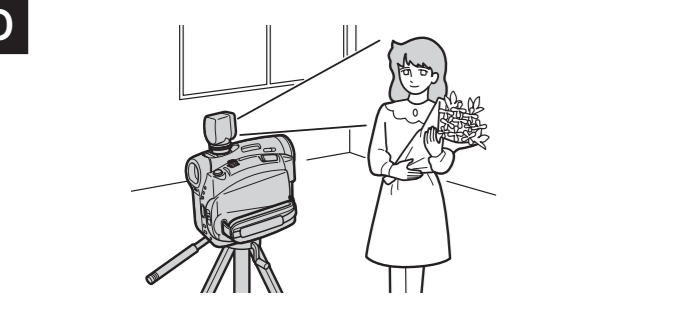
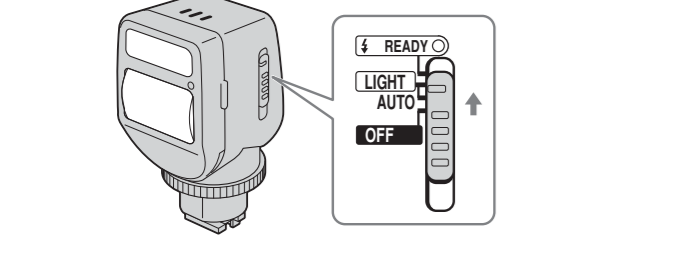
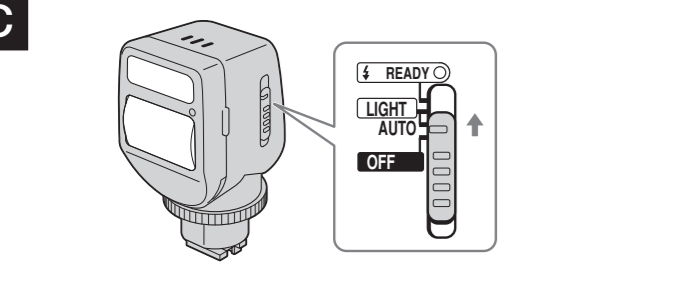
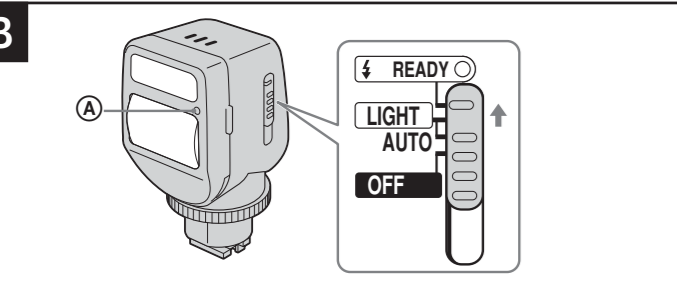
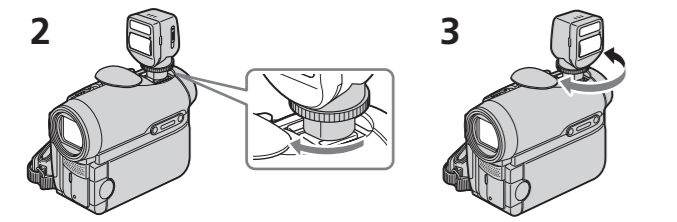
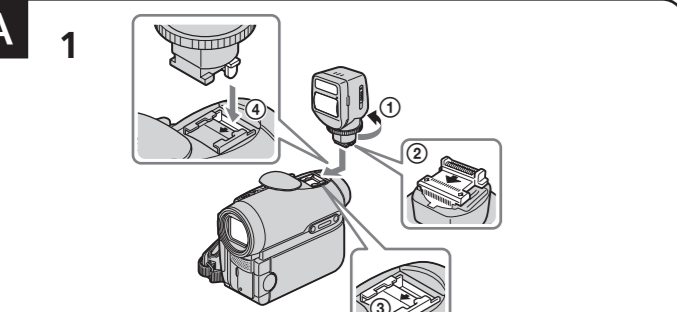
取扱説明書/Operating Instructions/Mode d'emploi/Manul de instrucciones/使用说明书

HVL-HFL1

©2005 Sony Corporation Printed in Japan

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この**取扱説明書をよくお読み**のうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



http://www.sony.net/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物型インキを使用しています。

Printed on 70% or more recycled paper using VOC (Volatile Organic Compound)-free vegetable oil based ink.

日本語

Active Interface Shoe

このマークの商品は、ソニー（株）のビデオ機器のアクティブインターフェースシステムに対応しています。このシステムを搭載したビデオ機器とアクセサリを組み合わせることにより、目的に合わせた効果的な撮像が簡単にできます。

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながる危険があります。事故を防ぐために次のことを必ず守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わずに、ソニーの相談窓口**に相談する
- **万一、異常が起きたら**

変な音やにおい、煙が出た場合は → ●ビデオカメラの電源を切る ●ソニーの相談窓口

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号	行為を禁止する記号
火災 感電	禁止 接触禁止 分解禁止

警告 下記の注意事項を守らないと、**火災・感電により死亡や大けがの原因**となります。

点灯したまま放置しない
放置したまわりの状況によっては火災の原因となることがあります。使用しないときは必ずビデオカメラの電源スイッチを「OFF」にしてください。

ビデオカメラに取り付けたままケースに収納しない
万一誤ってビデオカメラの電源スイッチおよび本機のスイッチが「ON」になると、発煙、発火の原因となることがあります。

点灯中と消灯直後のランプにさわらない
ランプ及びその周辺は非常に高温になるのでやけどの恐れがあります。ランプの交換や収納は充分冷えてから行ってください

指定以外のランプは使用しない
火災の原因となります。

放熱孔をふさがない
内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

紙や布などの燃えやすいものを近づけない
火災の原因となります。

湿気やほこりの多い場所では使わない
感電や火災の原因となることがあります。

アルコールやベンジンなど揮発性、引火性の高い薬品を近づけたらライトの近くに置いたりしない
発火、発煙の恐れがあります。

分解しない
内部には電圧の高い部分があり、分解したりすると感電の原因となります。内部の点検などはソニーの相談窓口へご相談ください。

内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属屑を落とさない
そのまま使用すると、火災や事故、故障の原因となります。

注意 下記の注意事項を守らないと、**けがをしたり周辺の家財に損害**を与えたりすることがあります。

熱くなったガラスに水などをかけない
破損し、けがをすることがあります。

点灯中のランプやフラッシュを直接見ない
強力な光は目をいためる恐れがあります。

主な特長

- ビデオカメラに取り付けて使う、フラッシュとライトの機能を兼ね備えた、1台2役のビデオフラッシュライトです。
- アクティブインターフェースシステム搭載のビデオカメラに対応しているため、電源はビデオカメラ側から供給できます。
- ライト部は、ビデオカメラのスタンバイに連動して電源のON・OFFができます。また、暗くなる自動的に点灯するAUTO機能を備えています。
- フラッシュ部は、フォトモード機能付きビデオカメラのフォトモード撮影に対応しています。また、被写体との距離に合わせて光量を調節するため、撮影した映像が白く飛んでしまうのを防ぎます。

取り扱い上のご注意

- 点灯中のライトにショックを与えないでください。ランプが切れたり寿命が短くなったりすることがあります。
- 本機を持って、ビデオカメラを持ち上げないでください。
- バッテリーをビデオカメラと共通に使用していますので、ビデオライト使用時は、撮影時間が通常の半分程度短くなります。
- 本機をご使用の際は、「インフォリチウム」バッテリーと「インフォリチウム」対応のビデオカメラをご使用の場合、ビデオカメラのバッテリー残量表示が正しく表示されないことがあります。
- 動画の撮影中はフラッシュは動作しません。

お手入れのしかた

時々、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し混ぜた布で拭いてから、もう一度から拭きってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

主な仕様

電源電圧	DC 7.2 V
消費電力	約3.5 W
ランプ部	
ランプ	DC 6 V/3 W
最大光度	約100cd
照射方向	水平
照射角度	約15度

ランプ点灯時連続録画時間 (フラッシュ不使用時)

バッテリー	モード	ファインダーで撮影時 (DCR-HC90使用時)	液晶画面で撮影時 (DCR-HC90使用時)
NP-FA50		約35分	約30分
NP-FA70		約70分	約60分

(上記はそれぞれのバッテリーが十分に充電されている場合の、おおよその時間を示しています。)

撮影距離 1m: 約100ルクス
2m: 約25ルクス
3m: 約11ルクス
約3,000K
約100時間

フラッシュ部
フラッシュ寿命 約1,500回
ガイドランプ 約10回当り

その他
外形寸法 (最大突起部を除く) 約31.5×62.5×47 mm (幅/高さ/奥行)
質量 約52 g
ビデオフラッシュライト (1)
ポーチ (1)
印刷物一式

本機の様相および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

A 取り付け

ビデオカメラに取り付ける/取りはずす際は、本機の電源スイッチが「OFF」の状態で行ってください。

- 1 本機の固定つまみが反時計方向①に回りきっているか確認する。
- 2 本機の裏面にある矢印②とビデオカメラにある矢印③の方向をあわせる。
- 3 本機のシューコネクタ (端子部) をビデオカメラ側部④にはめ込み、矢印④の方向にスライドさせる。
- 4 固定つまみをカチッと音がするまで時計方向に回し固定させる。

- 1 ビデオカメラのレンズの方向にあわせて、本機を回転させる。本機は180度以上回転します。
- 2 固定つまみを反時計方向に回してゆるめる。
- 1 上から押しながら取り付けた方向と反対に引き出してははずす。

ご注意
本機が差し込みできないときは、固定つまみをとままで反時計方向に回してください。固定ロックが解除されます。

B ビデオフラッシュを使う

フラッシュはフォトモード機能付きのビデオカメラで使えます。ここではDCR-HC90を例に説明しています。ビデオカメラの詳細については、お手持ちのビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

- 1 ビデオカメラの電源スイッチを「撮る-メモリー」または、「撮る-メモリー」にする。
ビデオカメラのフラッシュ設定は、「発光禁止」以外の設定にしてください。自動調節の場合は、被写体の光量が定まりない場合のみ発光し、「強制発光」では常に発光します。
- 2 本機の電源スイッチを「READY」にする。
本機が発電を始め、READYランプが点滅します。充電が完了すると、READYランプが点灯になります。
- 3 ビデオカメラのフォトボタンを軽く押したまま画像を確認する。フォトボタンは軽く押したままにしておく。
ビデオカメラの設定が「撮る-テープ」の場合、このときにフラッシュがフォトボタンに連動して発光します。
画像が静止画面になり、メモリー表示が出ます。
このとき記録はされません。
画像を選びなおすときはフォトボタンを離します。フォトボタンを離すと、本機は再び充電を始めます。READYランプについてからもう1度フォトボタンを軽く押ししてください。
フォトボタンを押すと、ビデオカメラが明るさを自動調節するために、画像が暗くなったり、色が変わって見えることがあります。
- 4 ビデオカメラのフォトボタンの設定が「撮る-メモリー」の場合、このときにフラッシュがフォトボタンに連動して発光します。
フォトボタンを押したとき、バーのスクロール表示が終わると、記録が完了します。記録中は取り込んだ画像がファインダーまたは液晶画面に出ています。
フォトボタンを離すと、画像の記録後、本機は自動的に充電を開始します。

使い終わったら
本機の電源スイッチを「OFF」にする。

- ご注意**
- 本機とビデオカメラ内蔵フラッシュは同時に使えません。
 - ビデオフラッシュと被写体との距離は、暗い部屋で約1~5mが目安です。
 - 撮影時、本機のセンサー部⑥を指などでふさがないようにください。被写体との距離がわからなくなり、光量を調節できなくなります。
 - 本機はバッテリーをビデオカメラと共通に使用しています。バッテリーの残量が少なくなるると、充電時間が長くなります。
 - 本機が発電したあとでも、次の充電には使用時に再充電されます。
- 本機の電源スイッチを「OFF」にしたあと
- ビデオカメラを「見る/編集」にしたあと

C ビデオライトを使う

- 暗い場所で自動的に点灯させるとき
- 1 本機の電源スイッチを「AUTO」にする。
 - 2 ビデオカメラをスタンバイ状態にする。
- 撮影時、暗い場所では自動的にライトが点灯します。
「AUTO」では、撮影中でも約5分たつと自動的に消えます。
点灯中に消すときは、ビデオカメラを「切 (充電)」または本機の電源スイッチを「OFF」にします。
撮影中、常時点灯させる場合は、本機の電源スイッチを「LIGHT」にしてお使いください。

- ビデオカメラのスタンバイ状態に連動して点灯させるとき**
- 1 本機の電源スイッチを「LIGHT」にする。
 - 2 ビデオカメラをスタンバイ状態にする。
連動してライトが点灯します。
消すときは、ビデオカメラを「切 (充電)」または本機の電源スイッチを「OFF」にします。

使い終わったら
本機の電源スイッチを「OFF」にする。

- ご注意**
- ビデオカメラのスタンバイ状態が長いとバッテリーの消耗が早まります。こまめにスタンバイ状態を「切 (充電)」にしてください。
 - ご使用にならないときは、付属のポーチに収納してください。
 - 収納するときは、本機が充分に冷めているのを確認してください。

D 被写体へのライトの当てかた

- 室内撮影などには使用すると、被写体をきれいに写せます。広角の画面撮影時には周辺の光量が不足します。その時は中央の被写体に効果的なスポットライトとしてご使用ください。
- 室内照明が蛍光灯の場合、画像にちらつきがでることがあります。ビデオライトを併用するとちらつきが消失、比較的きれいな画像になります。

E ランプを交換するには

- 交換用ランプはソニーキセノンランプXB-3Lをお使いください。ソニーの相談窓口にご相談ください。その際、ソニーキセノンランプXB-3L (A-1099-823-□) をお申し付けください。
- 1 点灯中に切れた場合はランプ本体が冷えてから交換してください。
 - 2 本体が冷えたことを確認後、コインなどを使ってフロントカバーをはずす。
ランプを差し替える。
① 交換用ランプに付属のチューブをランプに差し込み、古いランプを引き抜いてください。
② 交換用ランプを、ランプの根元の差し込み口にまっすぐに差し込んでください。
 - 3 ＊ランプが傾かないように、注意してください。
③ フロントカバー両側のソメを差し込み取り付ける。

- ご注意**
- 点灯中に切れたランプは、高温になっています。ランプが冷えてから交換してください。
 - 新しいランプは直接手で触れず、乾いた布などでぐるぐると取り付けてください。ランプの表面に指紋や汚れが付いたときは、きれいに拭き取ってください。

- 内部には電圧の高い部分があり、分解したりすると感電の原因となります。
- 内部の点検などはソニーの相談窓口にご相談ください。

保証書とアフターサービス

- 保証書について**
- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
 - 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
 - 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて
調子が悪いときはまず**チェック**をこの説明書をもつ一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは
ソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。当社ではビデオフラッシュライトの補修可能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を、製造打ち切り後8年間保存しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとでも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ソニーの相談窓口にご相談ください。

- ご相談になるときは次のことをお知らせください。
- **型名**: HVL-HFL1
 - **故障の状態**: できるだけ詳しく
 - **お買い上げ日**

よくあるお問い合わせ。解決方法などはホームページをご覧ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方の相談窓口

フリーダイヤル 0120-333-0210
携帯電話・PHS 一部0P電話・0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル 0120-222-330
携帯電話・PHS 一部0P電話・0466-31-2531

FAX (業務) 0120-333-989 受付時間 月-金 9:00~20:00 土・日・祝日 9:00~17:00
ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

English

Active Interface Shoe This mark indicates the Active Interface Shoe System for use with Sony video products. Video components and accessories equipped with this system are designed to make effective recording simple.

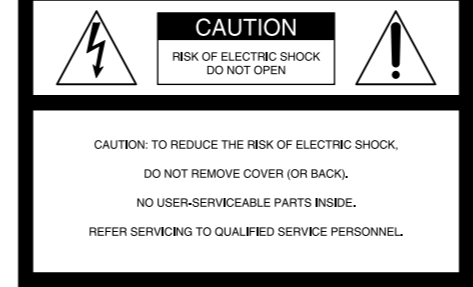
Before operating the unit, please read this manual thoroughly, and retain it for future reference.

WARNING

To prevent fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.

For the Customers in the U.S.A.

THIS DEVICE COMPLIES WITH PART 15 OF THE FCC RULES. OPERATION IS SUBJECT TO THE FOLLOWING TWO CONDITIONS:
(1) THIS DEVICE MAY NOT CAUSE HARMFUL INTERFERENCE, AND
(2) THIS DEVICE MUST ACCEPT ANY INTERFERENCE RECEIVED, INCLUDING INTERFERENCE THAT MAY CAUSE UNDESIRE D OPERATION.



This symbol is intended to alert the user to the presence of uninsulated "dangerous voltage" within the product's enclosure that may be of sufficient magnitude to constitute a risk of electric shock to persons.

This symbol is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the appliance.

CAUTION
You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

NOTE:
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
— Reorient or relocate the receiving antenna.
— Increase the separation between the equipment and receiver.
— Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that which the receiver is connected.
— Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

For the Customers in CANADA

THIS CLASS B DIGITAL APPARATUS COMPLIES WITH CANADIAN ICES-003.

Features

- When attached to a camcorder this unit functions as a video light and flash.
- This video flash light is compatible with camcorders that have an active interface shoe attached. The video flash light can therefore receive power via the camcorder.
- Video light ON/OFF is controlled with the camcorder in standby mode.
- When setting to AUTO, the video light comes on automatically in dark places.
- The video flash can only be used on a camcorder with the PHOTO recording function. As the brightness of the flash is automatically adjusted according to the distance of the subjects, your picture does not become whitish with too much brightness.

Precautions

Be careful not to touch the lighting section, because the plastic window and surrounding surfaces are hot while the light is on and just after it is turned off.

- Never look directly at the lamp while the video light or flash is on.
- Avoid placing the video flash light near combustible or volatile solvents such as alcohol or benzine.
- Do not let any solid object or liquid fall onto or into the video flash light.
- Do not knock or jolt the video flash light while it is turned on as it may damage or shorten the life of the lamp.
- Do not leave the video light on while it is resting on or against something; it may cause a fire or damage the video flash light.
- While using the video flash light, the battery supplies power to both the camcorder and the video flash light. This shortens the operating time of the battery to less than half of the normal time.
- Do not pick up the camcorder by the head of the video flash light.
- Remove the video flash light before putting the camcorder into a carrying case.
- Do not place anything over the ventilation grill.
- When the cover is hot do not allow it to get wet.
- The battery level may not be displayed correctly when using an "InfoLITHIUM" battery and "InfoLITHIUM" compatible camcorder with the video flash light.
- The flash does not operate when recording moving pictures.

On cleaning

Clean the video flash light with a dry soft cloth. You can remove stubborn stains with a cloth lightly dampened with a mild detergent solution, then dry the unit with a soft cloth.
Never use strong solvents, such as thinner, benzine or alcohol, since these will damage the finish on the surface.

Specifications

Power requirements	7.2 V DC
Power consumption	Approx. 3.5 W

Video light segment	
Lamp	6 V DC/3 W
Maximum luminous intensity	Approx. 100 cd
Lighting direction	Horizontal
Lighting angle	Approx. 15 degrees
Continuous lighting time (when not using the flash)	

	Lighting duration
Type of battery pack	Used with camcorder (DCR-HC90)*
NP-FA50	35 (30)
NP-FA70	70 (60)

(Approx. minutes using fully-charged battery pack)
* When used with the LCD panel closed. Duration with the LCD panel open is shown in parentheses.

Illumination range	Approx. 1 m (3 1/4 ft): 100 lux, Approx. 2 m (6 1/2 ft): 25 lux, Approx. 3 m (9 3/4 ft): 11 lux
Color temperature	Approx. 3,000 K
Average life of lamp	Approx. 100 hours

Video flash segment	
Flash life	Approx. 1,500 times
Guide no.	equivalent to approx. 10
Others	
Dimensions	Approx. 31.5 × 62.5 × 47 mm (1 1/4 × 2 1/2 × 1 7/8 inches) (w/h/d)
Mass	Approx. 52 g (1.9 oz)
Included items	Video flash light (1) Pouch (1) Set of printed documentation

Design and specifications are subject to change without notice.

A Attaching or removing the video flash light to a camcorder

Set the power switch of the video flash light to OFF before attaching or removing it from the camcorder.

To attach the video flash light

- 1 Make sure that you completely turn the lock knob counterclockwise①.
- 2 Align the arrow on the rear of the video flash light② with the arrow on the camcorder③.
- 3 Attach the shoe connector (terminal) of the video flash light to the concave part of the camcorder④, and then slide the video flash light in the direction of the arrow⑤.
- 4 Turn the lock knob clockwise until it clicks into place.
- 5 Turn the video flash light to the same direction as the camcorder lens.
The video flash light can be rotated more than 180 degrees.

To remove the video flash light

- 1 Loosen the lock knob by turning it counterclockwise in the opposite direction of the arrow.
- 2 Push down and pull out the video flash light in the opposite direction of the arrow to remove it.

Note
If you cannot insert the video flash light, turn the lock knob counterclockwise until it reaches the end to cancel the lock.

B Using the video flash

Use the video flash only with a camcorder which has the PHOTO recording function. The DCR-HC90 is the model used for explaining the instructions. For details, refer to the operating instructions of your camcorder.

- 1 Set the camcorder POWER switch to CAMERA-TAPE or CAMERA-MEMORY.
Set the camcorder to any flash setting except "no flash." When auto flash is set, the flash automatically operates if there is insufficient surrounding light. When "forced flash" is set, the flash always operates regardless of the surrounding brightness.
- 2 Set the power switch to READY.
The charge complete lamp READY blinks as the video flash light starts to charge. When charging is complete, the charge complete lamp READY stops blinking but remains on.
- 3 Keep pressing the camcorder PHOTO button lightly to confirm the image. Keep the camcorder PHOTO button pressed down lightly.
The PHOTO button controls video flash operation when the camcorder POWER switch is set to CAMERA-TAPE. A still picture appears in the viewfinder and the memory indicator comes on.
Recording is not carried out at this point. To change the still picture, release the camcorder PHOTO button. The video flash light starts charging again after you release the camcorder PHOTO button. Wait until the battery charge complete lamp READY appears before lightly pressing the PHOTO button again.

Because the camcorder automatically adjusts the brightness when you press the PHOTO button, the image may get darker or the colors may seem to change.

- 4 Press the camcorder PHOTO button deeper.
The PHOTO button controls video flash operation when the camcorder POWER switch is set to CAMERA-MEMORY. When you press the PHOTO button, the bar scroll indicator disappears and recording stops. During recording, captured images appear in the viewfinder or on the LCD.
When you release the PHOTO button, the video flash light automatically starts to recharge after the image is recorded.

After use

Set the power switch to OFF.

Notes

- You cannot use this unit with the built-in flash of the camcorder.
- The appropriate distance between a subject and the video flash light is approx. 1 m to 5 m (3 1/4 ft to 16 1/4 ft) in a dark room.
- During recording, keep your fingers away from the sensor Ⓐ of this unit. Otherwise, the brightness of the flash cannot be adjusted properly.
- The video flash light uses the same battery as your camcorder. If the battery level is low, the flash light takes more time to recharge.
- The video flash light will be recharged even if it is completely charged after:
- you set the power switch to OFF.
- you set the camcorder to PLAY/EDIT.

C Using the video light

To turn on the video light automatically in a dark place

- <

Français

(Suite de la page avant)
<ul style="list-style-type: none">La lampe vidéo est allumée et éteinte avec le caméscope en mode de veille. En mode AUTO, la lampe vidéo s'allume automatiquement dans les endroits sombres. Le flash vidéo ne peut être utilisé qu'avec un caméscope présentant le mode PHOTO. Comme la luminosité du flash est automatiquement ajustée en fonction de la distance du sujet, la photo ne risque pas d'être surexposée sous un éclairage lumineux.

Précautions

<p>Veillez à ne pas toucher la section d'éclairage, car la fenêtre en plastique et les surfaces environnantes sont chaudes quand la lampe est allumée et juste après qu'elle a été éteinte.</p>

- Ne jamais regarder directement l'ampoule quand la lampe ou le flash vidéo sont allumés.
- Évitez de poser la lampe-flash vidéo près de combustibles ou de solvants volatils, comme l'alcool ou la benzine.
- Veillez à ne pas laisser tomber de solide ni de liquide sur ou dans la lampe-flash vidéo.
- Ne pas cogner ni secouer la lampe-flash vidéo quand elle est éclairée afin de ne pas l'endommager ou de ne pas réduire la durée de vie de l'ampoule.
- Ne pas laisser la lampe-flash vidéo allumée quand elle est posée sur ou contre quelque chose. Il y a risque d'incendie ou la lampe pourrait être endommagée.
- Quand vous utilisez la lampe-flash vidéo, la batterie alimente le caméscope et la lampe-flash vidéo. L'autonomie de la batterie est alors réduite de plus de moitié par rapport à l'autonomie normale.
- Ne pas saisir le caméscope par la lampe-flash vidéo.
- Enlèvez la lampe-flash vidéo avant de ranger le caméscope dans sa sacoché de transport.
- Ne rien poser sur la grille de ventilation.
- Quand le capot de la lampe est trop chaud, ne pas le mouiller.
- L'autonomie de la batterie peut ne pas être très exacte lorsqu'une batterie « InfoLITHIUM » et un caméscope compatible « InfoLITHIUM » sont utilisés avec la lampe-flash vidéo.
- Le flash ne fonctionne pas pendant l'enregistrement de séquences vidéo.

Nettoyage

Nettoyez la lampe vidéo avec un chiffon sec et doux. Vous pouvez enlever les tâches rebelles avec un chiffon légèrement imprégné de détergent neutre, puis essuyez la lampe avec un chiffon doux. N'utilisez jamais de solvant concentré, tel qu'un diluant ou de la benzine, qui risquerait d'abîmer la finition de la surface.

Spécifications

Alimentation	7,2 V CC
Consommation	Env. 3,5 W

Section Lampe vidéo	
Lampe	6 V CC/3 W
Intensité lumineuse maximale	Env. 100 cd
Direction d'éclairage	Horizontale
Angle d'éclairage	Env. 15 degrés
Temps d'éclairage continu (si vous n'utilisez pas le flash)	

	Temps d'éclairage
Type de batterie rechargeable	Utilisée avec un caméscope (DCR-HC90)*
NP-FA50	35 (30)
NP-FA70	70 (60)

(Env. en minutes avec une batterie rechargeable pleine)
* Avec le panneau LCD fermé. Le temps avec l'écran LCD ouvert est indiqué entre parenthèses.

Plage d'illumination	Env. 1 m (3 1/4 ft) : 100 lux
	Env. 2 m (6 1/2 ft) : 25 lux
	Env. 3 m (9 3/4 ft) : 11 lux
	Env. 3 000 K
Durée de vie moyenne de l'ampoule	Env. 100 hours

Section Flash vidéo	
Durée de vie du flash	Env. 1 500 écriv.
Nombre guide	Equivalent à env. 10
Divers	
Dimensions	Env. 31,5 × 62,5 × 47 mm (1 1/4 × 2 1/2 × 1 7/8 po.) (l/h/d)
Poids	Env. 52 g (1,9 on.)
Articles inclus	Lampe-flash vidéo (1) <p>Pochette (1) <p>Jeu de documents imprimés</p></p>

La conception et les spécifications peuvent être modifiées sans avis préalable.

A Fixation ou retrait de la lampe-flash vidéo sur un caméscope

Réglez le commutateur d'alimentation de la lampe-flash vidéo sur OFF avant de la fixer ou de la retirer du caméscope.

Pour rattacher la lampe-flash vidéo

- Veillez à tourner complètement le bouton de verrouillage dans les sens anti-horaire ⌚.
- Alignez la flèche à l'arrière de la lampe-flash vidéo ② sur la flèche située sur le caméscope ③.
- Fixez le connecteur (la borne) de griffe de la lampe vidéo sur la partie concave du caméscope ④, puis faites coulisser la lampe vidéo dans les sens de la flèche ⑤.
- Tournez le bouton de verrouillage dans les sens horaire, jusqu'à ce que vous entendiez un déclic.
- Orientez la lampe-flash vidéo dans la même direction que l'objectif du caméscope. Vous pouvez faire pivoter la lampe vidéo à plus de 180 degrés.

Pour retirer la lampe-flash vidéo

- Desserrez le bouton de verrouillage en le tournant dans les sens anti-horaire, dans les sens contraire de la flèche.
- Tirez la lampe-flash vidéo dans les sens contraire de la flèche en appuyant dessus pour la retirer.

Remarque

Si vous ne pouvez pas insérer la lampe-flash vidéo, tournez le bouton de verrouillage dans les sens anti-horaire jusqu'au bout pour déverrouiller.

B Utilisation du flash vidéo

Utilisez le flash vidéo uniquement avec un caméscope doté de la fonction d'enregistrement PHOTO. Le modèle DCR-HC90 a été utilisé pour illustrer les instructions.

Pour plus de détails, reportez-vous au mode d'emploi de votre caméscope.

- Réglez le commutateur POWER du caméscope sur CAMERA-TAPE ou sur CAMERA-MEMORY.

Réglez le caméscope sur tout réglage flash autre que « no flash ». Lorsque le flash automatique est activé, le flash se déclenche automatiquement en cas de lumière ambiante insuffisante. Lorsque le « flash forcé » est activé, le flash se déclenche toujours, quelle que soit la luminosité ambiante.

- Réglez le commutateur d'alimentation sur **¿ READY**. Le témoin de charge READY clignote pendant la recharge. Lorsqu'elle est terminée, le témoin READY cesse de clignoter et reste allumé.

- Tenez la touche PHOTO du caméscope légèrement enfoncée jusqu'à ce qu'une image apparaisse.

La touche PHOTO commande le fonctionnement du flash vidéo lorsque le commutateur POWER du caméscope est réglé sur CAMERA-TAPE. Une image fixe apparaît dans le viseur et l'indicateur d'enregistrement en mémoire s'allume lorsque vous appuyez sur cette touche.

L'enregistrement n'est pas encore exécuté à ce moment. Pour changer d'image, relâchez la touche PHOTO du caméscope. Le flash vidéo se recharge aussitôt. Attendez que le témoin de charge READY apparaisse avant d'appuyer une nouvelle fois légèrement sur la touche PHOTO. La luminosité s'ajuste lorsque vous appuyez sur la touche PHOTO, et l'image peut paraître plus sombre ou les couleurs différentes à ce moment.

- Appuyez plus fort sur la touche PHOTO du caméscope. La touche PHOTO commande le fonctionnement du flash vidéo lorsque le commutateur POWER du caméscope est réglé sur CAMERA-MEMORY.

Lorsque vous appuyez sur la touche PHOTO, l'indicateur à barres disparaît et l'enregistrement s'arrête. Pendant l'enregistrement, les images saisies apparaissent dans le viseur ou sur l'écran LCD. Lorsque vous relâchez la touche PHOTO, la lampe-flash vidéo se recharge dès que l'image est enregistrée.

Après utilisation

Réglez l'interrupteur d'alimentation sur OFF.

Remarques

- Vous ne pouvez pas utiliser cet appareil avec le flash intégré du caméscope.
- La distance appropriée entre un sujet et la lampe-flash vidéo est d'environ 1 à 5 m (3 1/4 à 16 1/4 ft) dans une pièce sombre.
- Pendant la prise de vues, ne pas mettre les doigts sur le capteur ④ de la lampe-flash vidéo, sinon la luminosité du flash ne pourra pas être ajustée correctement.
- Pendant l'enregistrement, La lampe-flash vidéo et le caméscope fonctionnent sur la même batterie. Si le niveau de la batterie est trop faible, la lampe mettra plus de temps à se charger.
- La lampe-flash vidéo devra être à nouveau rechargé même après une recharge si:
 - vous avez réglé l'interrupteur d'alimentation du flash sur OFF.
 - que vous réglez le caméscope sur PLAY/EDIT.

C Utilisation de la lampe vidéo

Pour utiliser l'éclairage et l'extinction automatiques de la lampe

- Réglez l'interrupteur d'alimentation sur AUTO.

- Mettez le caméscope en mode d'attente.

La lampe vidéo s'allume automatiquement quand vous utilisez le caméscope dans un lieu sombre.
En mode AUTO, la lampe vidéo s'éteint automatiquement après 5 minutes environ, même en cours d'enregistrement.
Pour éteindre la lampe vidéo lorsque la lampe est allumée, réglez le caméscope sur OFF (CHG) ou réglez la lampe vidéo sur OFF.
Pour allumer la lampe vidéo pendant toute la durée d'enregistrement, réglez la lampe vidéo sur LIGHT.

Pour allumer et éteindre la lampe quand le caméscope est en attente

- Réglez l'interrupteur d'alimentation sur LIGHT.

- Mettez le caméscope en mode d'attente.

La lampe vidéo s'allume en même temps que le caméscope.
Pour éteindre la lampe vidéo, réglez le caméscope sur OFF (CHG), ou réglez la lampe vidéo sur OFF.

Après utilisation

Réglez l'interrupteur d'alimentation sur OFF.

Remarques

- La batterie se décharge lorsque le caméscope est en mode d'attente. Annulez le mode d'attente en réglant le caméscope sur OFF (CHG).
- Rangez la lampe dans sa pochette quand vous ne l'utilisez pas.
- Assurez-vous que la lampe vidéo est froide avant de la ranger.

D Eclairage d'un sujet

• Si vous filmez en intérieur avec la lampe vidéo, vous obtiendrez des images nettes avec de belles couleurs.

• Lors de la prise de vues en grand angle, la lampe vidéo ne pourra peut-être pas éclairer complètement les angles de l'image. Utilisez la lampe vidéo pour bien éclairer et filmer le sujet principal de l'image.

• Les lampes fluorescentes ont tendance à produire un vacillement de l'image. L'utilisation de la lampe vidéo peut améliorer les images en accentuant la netteté des couleurs.

E Remplacement de l'ampoule

Utilisez la lampe au xénon XB-3L de Sony. Contactez votre revendeur Sony ou un service après-vente agréé Sony pour remplacer la lampe au xénon XB-3L. Pour l'achat d'une lampe au xénon, commandez les références de pièce suivantes : A-1099-823-Q.

L'ampoule est brillante quand elle vient d'être éteinte. Laissez-la refroidir avant de l'enlever.

- Une fois que l'appareil a suffisamment refroidi, retirez le panneau avant en insérant un objet tel qu'une pièce de monnaie.
- Remplacez la lampe.
 - Recouvrez l'ancienne lampe à l'aide du tube fourni avec la lampe neuve de rechange et tirez le tube pour remplacer l'ancienne lampe.
 - Insérez la lampe neuve bien droite dans la douille.
 - Ne penchez pas la lampe.
- Insérez les cliquets du panneau avant et fixez-le.

Remarques

- L'ampoule reste chaude un moment après avoir été éteinte. Assurez-vous que l'ampoule est suffisamment froide avant de la sortir.
- Pour éviter de laisser des traces de doigts sur l'ampoule, tenez l'ampoule avec un chiffon sec. Si l'ampoule est sale, essuyez-la bien.
- L'intérieur de la lampe contient un circuit haute tension. Afin d'éviter tout risque d'électrocution, ne pas ouvrir la lampe.
- Pour tout contrôle interne, consultez votre revendeur Sony ou un centre de réparation Sony.

B Utilisation du flash vidéo

Español

Active Interface Shoe
<p>Esta marca indica el sistema de zapata de <i>interfaz</i> activa para utilizarse con productos de vídeo Sony. Los componentes y los accesorios de video provistos de este sistema han sido diseñados para facilitar la videofilmación efectiva.</p>
<p>Nombre del producto: Lámpera / flash para vídeo Modelo: HVL-HFL1</p>
POR FAVOR LEA DETALLADAMENTE ESTE MANUAL DE INSTRUCCIONES ANTES DE CONECTAR Y OPERAR ESTE EQUIPO.
RECUERDE QUE UN MAL USO DE SU APARATO PODRÍA ANULAR LA GARANTÍA.

<p>Antes de utilizar la unidad, lea detenidamente este manual, y consérvelo para futuras referencias.</p>
ADVERTENCIA
<p>Para evitar incendios o descargas eléctricas, no exponga la unidad a la lluvia ni a la humedad.</p>

ADVERTENCIA

Para evitar incendios o descargas eléctricas, no exponga la unidad a la lluvia ni a la humedad.

Características

- Fijada a una videocámara, esta unidad funcionará como lámpara para vídeo y como flash.
- Esta lámpara / flash para vídeo es compatible con videocámaras que tengan fijada una zapata de interfaz activa. De esta forma, la lámpara / flash para vídeo podrá recibir alimentación de la videocámara.
- La conexión/desconexión de la alimentación de la lámpara para vídeo se controla con la videocámara en el modo de espera. Cuando haya ajustado a AUTO, la lámpara para vídeo se encenderá automáticamente en lugares oscuros.
- El flash para vídeo solamente podrá utilizarse con una videocámara con función de videofilmación PHOTO.
- Como el brillo del flash se ajusta automáticamente de acuerdo con la distancia hasta el motivo, es posible que sus imágenes no resulten blanquecinas con demasiado brillo.

Precauciones

<p>Tenga cuidado de no tocar la sección de iluminación, porque la ventanilla de plástico y las superficies circundantes estarán calientes cuando la lámpara esté encendida e inmediatamente después de haberla apagado.</p>

- No mire directamente hacia la bombilla cuando la lámpara / flash para vídeo esté encendida.
- Evite colocar la lámpara / flash para vídeo cerca de combustibles o disolventes volátiles, como alcohol o bencina.
- No permita que dentro de la lámpara / flash para vídeo entre ningún objeto sólido ni líquido.
- No golpee ni sacuda la lámpara / flash para vídeo mientras esté encendida, ya que podría dañarla o acortar la duración de la bombilla.
- No deje la lámpara / flash para vídeo encendida sobre ni apoyada contra nada, porque podría provocar un incendio o dañarla.
- Mientras esté utilizando la lámpara / flash para vídeo, la batería alimentará tanto la lampe vídeo como la propia lámpara / flash para vídeo. Esto acortará el tiempo de operación de la batería a menos de la mitad del normal.
- No tome la videocámara por la cabeza de la lámpara / flash para vídeo.
- Quite la lámpara / flash para vídeo antes de colocar la videocámara en una caja de transporte.
- No coloque nada sobre la rejilla de ventilación.
- Cuando la cubierta esté caliente, no permita que se humedezca.
- El nivel de la batería puede no visualizarse correctamente cuando utilice una batería “InfoLITHIUM” y una videocámara compatible con “InfoLITHIUM” con la lámpara / flash para vídeo.
- El flash no funcionará cuando grabe imágenes móviles.

Limpieza

Limpie la lámpara / flash para vídeo con un paño suave y seco. Usted podrá eliminar las manchas difíciles con un paño ligeramente humedecido en una solución muy diluida de detergente, y después secándola con un paño suave.

No utilice nunca disolventes fuertes, como diluyente de pintura, bencina, o alcohol, ya que éstos podrían dañar el acabado de la superficie.

Especificaciones

Alimentación	cc 7,2 V
Consumo	Aprox. 3,5 W

Segmento de la lámpara para vídeo	
Bombilla	cc 6 V/3 W
Intensidad luminosa máxima	Aprox. 100 candelas
Dirección de iluminación	Horizontal
Ángulo de iluminación	Aprox. 15 grados
Tiempo de iluminación continua (cuando no esté utilizando el flash)	

	Duración de iluminación
Tipo de batería	Utilizada con la videocámara (DCR-HC90)*
NP-FA50	35 (30)
NP-FA70	70 (60)

(min aproximados utilizando una batería completamente cargada)
* Cuando se utilice con el panel LCD cerrado. La duración con la pantalla de cristal líquido abierta se muestra entre paréntesis.

Alcance de iluminación	Aprox. 1 m : 100 lux
	Aprox. 2 m : 25 lux
	Aprox. 3 m : 11 lux
	Aprox. 3 000 K
Duración media de la bombilla	Aprox. 100 h

Segmento del flash para vídeo	
Duración del flash	Aprox. 1 500 veces
Número guía	Equivalente a aprox. 10
Otros	
Dimensiones	Aprox. 31,5 × 62,5 × 47 mm (an/al/prf)
Masa	Aprox. 52 g
Elementos incluidos	Lámpera / flash para vídeo (1) <p>Bolsa transporte (1) <p>Juego de documentación impresa</p></p>

El diseño y las especificaciones están sujetos a cambio sin previo aviso.

A Montaje o desmontaje de la lámpara/flash para vídeo en una videocámara

Antes de instalar la lámpara / flash para vídeo en la videocámara o desinstalarla de ella, ponga su interruptor de alimentación en OFF.

Para montar de la lámpara/flash para vídeo

- Cerciórese de girar completamente hacia la izquierda el mando de bloqueo ⌚.
- Alinee la flecha de la parte posterior de la lámpara/flash para vídeo ② con la flecha de la videocámara ③.
- Fije el conector (terminal) de la zapata de la lámpara/flash para vídeo a la parte cóncava de la videocámara ④, y después deslice la lámpara/flash para vídeo en el sentido de la flecha ⑤.
- Gire el mando de bloqueo hacia la derecha hasta que chasque en su lugar.
- Gire la lámpara/flash para vídeo en el mismo sentido que el del objetivo de la videocámara.

La lámpara/flash para vídeo podrá girarse más de 180 grados.
Para desmontar la lámpara/flash para vídeo

- Afloeje el mando de bloqueo girándolo hacia la izquierda en sentido opuesto al de la flecha.
- Empuje hacia abajo la lámpara/flash para vídeo en sentido opuesto al de la flecha para desmontarla.

Nota

Si no puede insertar la lámpara / flash para vídeo, gire el mando de bloqueo hacia la izquierda hasta que llegue al final para desbloquearla.

B Utilización del flash para vídeo

Utilice el flash para vídeo solamente con una videocámara que posea la función de grabación PHOTO. La DCR-HC90 es el modelo utilizado para dar las explicaciones.

Con respecto a los detalles, consulte el manual de instrucciones de su videocámara.

- Ponga el selector POWER de la videocámara en CAMERA-TAPE o CAMERA-MEMORY.

Ponga la videocámara en cualquier ajuste de flash excepto “sin flash”. Cuando ajuste el flash a automático, éste se disparará automáticamente cuando la iluminación ambiental sea insuficiente. Cuando lo ajuste a “flash forzado”, el flash se disparará siempre independientemente de la iluminación ambiental.

- Ponga el interruptor de alimentación en **¿ READY**. Cuando comience a cargarse la lámpara / flash para vídeo parpadeará la lámpara de carga completa READY. Cuando finalice la carga, la lámpara READY dejará de parpadear y permanecerá encendida.

- Mantenga ligeramente presionada la tecla PHOTO de la videocámara para confirmar la imagen. Mantenga ligeramente presionada la tecla PHOTO de la videocámara.

El botón PHOTO controlará la operación del flash para vídeo cuando el selector POWER de la videocámara esté ajustado a CAMERA-TAPE. En el visor aparecerá una imagen fija y el indicador de memoria. La grabación no se realizará en este punto.
Para cambiar la imagen fija, suelte la tecla PHOTO. Después de haber soltado la tecla PHOTO, la lámpara / flash para vídeo comenzará a cargarse de nuevo. Espere hasta que se encienda la lámpara de carga completa READY antes de volver a presionar ligeramente la tecla PHOTO.
Como la videocámara ajusta automáticamente el brillo al presionar la tecla PHOTO, la imagen puede oscurecerse o es posible que parezca que los colores han cambiado.

- Presione a fondo la tecla PHOTO de la videocámara. El botón PHOTO controlará la operación del flash para vídeo cuando el selector POWER de la videocámara esté ajustado a CAMERA-MEMORY.

Cuando presione la tecla PHOTO, el indicador de barras desplazables desaparecerá y la grabación se parará. Durante la grabación, las imágenes captadas aparecerán en el visor o en la pantalla de cristal líquido.

Cuando suelte la tecla PHOTO, la lámpara / flash para vídeo comenzará a recargarse automáticamente después de haberse grabado la imagen.

Después de la utilización

Ponga el interruptor de alimentación en OFF.

Notas

- Usted no podrá utilizar esta unidad con el flash incorporado de la videocámara.
- La distancia apropiada entre el motivo y la lámpara para vídeo deberá ser de aproximadamente 1 a 5 m en una sala oscura.
- Durante la videofilmación, mantenga sus dedos alejados del sensor ④ de esta unidad. De lo contrario, el brillo del flash no se ajustará adecuadamente.
- La lámpara / flash para vídeo utiliza la misma batería que su videocámara. Si el nivel de la batería es bajo, la lámpara / flash para vídeo tardará más tiempo en recargarse.
- La lámpara / flash para vídeo se cargará incluso aunque esté completamente cargada después de:
 - haber puesto el interruptor de alimentación en OFF.
 - haber ajustado la videocámara a PLAY/EDIT.

C Utilización de la lámpara para vídeo

Para que la lámpara para vídeo se encienda automáticamente en un lugar oscuro

- Ponga el selector de alimentación en AUTO.

- Ponga la videocámara en el modo de espera.

La lámpara para vídeo se encenderá automáticamente cuando utilice la videocámara en un lugar oscuro.
En el modo AUTO, la lámpara para vídeo se apagará automáticamente después de unos 5 min incluso durante la grabación.
Para apagar la lámpara para vídeo cuando esté encendida, ajuste la videocámara a OFF (CHG), o ponga el interruptor de la lámpara para vídeo en OFF.
Para mantener encendida la lámpara para vídeo durante toda la grabación, ponga su interruptor en LIGHT.

Para controlar la lámpara para vídeo con la videocámara en el modo de espera

- Ponga el selector de alimentación en LIGHT.

- Ponga la videocámara en el modo de espera.

La lámpara para vídeo se encenderá en sincronización con la videocámara.

Para apagar la lámpara para vídeo, ponga de la videocámara en OFF (CHG) o el interruptor de alimentación en OFF.

Después de la utilización

Ponga el interruptor de alimentación en OFF.

Notas

- La batería se descargará con la videocámara en el modo de espera. Cuando no vaya a utilizarla, cambie el modo de espera a OFF (CHG).
- Cuando no vaya a utilizarla, guárdela en la bolsa de transporte.
- Antes de guardar la lámpara / flash para vídeo, cerciórese de que se haya enfriado.

D Iluminación de un motivo

- Cuando videofilme en interiores con esta unidad, podrá obtener imágenes claras y de hermosos colores.

- Para tomar en gran angular, es posible que la lámpara para vídeo no ilumine completamente las esquinas de las imágenes. Utilice la lámpara para vídeo para videofilmar efectivamente el motivo principal de la imagen.

- Las luces fluorescentes tienden a producir parpadeo en la videofilmación. La utilización de la lámpara para vídeo puede ayudar a conseguir mejores imágenes con menos disminución de los colores.

E Reemplazo de la bombilla

Utilice una bombilla de xenón XB-3L Sony. Para reemplazar la bombilla de xenón XB-3L, consulte a su proveedor Sony o a un centro de reparaciones autorizado por Sony. Utilice el número de pieza siguiente cuando adquiera una bombilla de xenón: A-1099-823-Q.

La bombilla estará caliente inmediatamente después de haberse fundido. Espere a que la bombilla se haya enfriado antes de extraerla.

- Quite la cubierta frontal utilizando algo como una moneda después de asegurarse de que la unidad se haya enfriado suficientemente como para poder manejarla.
- Reemplace la bombilla.

- Cubra la bombilla vieja con el tubo suministrado con la nueva bombilla para reemplazo y tire del tubo para reemplazar la bombilla vieja.
 - Inserte de forma recta la nueva la bombilla en el casquillo.
 - No incline la bombilla.
- Inserte las uñas de la cubierta frontal y fijela.

Notas

- La bombilla estará caliente después de haberse fundido. Cerciórese de que esté suficientemente fría antes de tocarla.
- Para evitar que la bombilla se manche con huellas dactilares, tómela con un paño seco, etc. Si la bombilla se ha manchado, frotela para limpiarla completamente.
- En el interior de esta unidad hay alta tensión, y el abrirla podría causar descargas eléctricas.
- Para inspeccionar el interior de la unidad, consulte a su proveedor Sony o a un centro de reparaciones Sony.

中文（簡）

Active Interface Shoe

此标识 表明本产品为用于 Sony 视频产品的有源接口端系统。使用配有本系统的视频部件和附件可轻松